

研究課題名	がんにより破壊された上下顎骨の、保存的治療による経過調査および再石灰化機序の解明
研究期間	実施許可日 ～2026年12月31日
研究の対象	2000年1月～2022年12月の間に広島大学病院で顎骨に生じたがんに対し、放射線または抗がん剤による治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：がんにより破壊された顎骨は、放射線または抗がん剤の治療により再石灰化されることが多くの患者さんで見られます。がんの種類、治療法と骨の変化に関連があるのかを調べます。</p> <p>研究の方法：1) 研究対象者のカルテ内にあるデータを使用して、性別、年齢、がんの種類、治療法と骨経過を対応させた表を作成し、骨の変化に影響する因子について検討します。</p> <p>2) 購入した間葉系幹細胞に、抗がん剤や放射線で細胞死したがん細胞株を投与し、骨芽細胞または軟骨細胞への分化能の変化を調べます。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>試料：間葉系幹細胞（理化学研究所バイオリソース研究センターまたはその他の外部機関より購入予定で、患者由来ではありません）</p> <p>情報：年齢、性別、病歴、画像検査結果</p>
外部への試料・情報の提供	ありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日。
個人情報の保護	情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 教授 柿本直也</p>
その他	特記事項無し
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書</p>

類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 歯科放射線科

担当者：島袋 紀一

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5671